

## 「目黒区地域交通の支援方針」説明会等の実施結果

「目黒区地域交通の支援方針」説明会等の実施結果	
1 説明会の目的 .....	2
2 説明会の事前準備 .....	2
(1) 感染拡大防止対策 .....	2
(2) 事前通知 .....	2
3 説明会の実施 .....	3
(1) 説明会の実施 .....	3
(2) アンケート調査項目 .....	7
4 説明会の実施結果 .....	8
(1) アンケート結果 .....	8
(2) 個別相談 .....	33

## 1 説明会の目的

区では、移動に関する地域の困りごとを解決するための取組に対し支援することを目的に、令和2年6月に地域交通の支援方針（以下「支援方針」という。）を策定し、支援方針の周知と地域の特性やニーズ等を把握するため、区内5地区（北部、東部、中央、西部、南部）と統合庁舎の6か所で説明会を行うこととした。

説明会では、ヒアリングやアンケート調査による住民意向を確認し、地域交通導入に向けた検討を推進するため素材として、地域交通運行ルートのイメージを作成する。

## 2 説明会の事前準備

### （1）感染拡大防止対策

説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3密を防ぐために事前予約制で、時間帯を区切って入場制限を行い、配布資料やパネル展示物をご覧いただくオープンハウス型で実施することとし、説明会当日は、職員や来場者の検温や手指消毒、会場の換気や飛沫感染対策を徹底し、感染拡大防止に努めた。

### （2）事前通知

説明会の開催にあたり、住区、町会・自治会の会長へアンケート票を送付し、説明会に参加できない方に対し、区のホームページからもアンケート回答できるように取組んだ。また、老人クラブへは、9月の老人クラブ連合会臨時会長会にて説明会のお知らせを配付し、周知を行った。

さらに、説明会の開催日時や場所について、区報や区ホームページ、町会や住区の掲示板において周知を行った。

### 3 説明会の実施

#### (1) 説明会の実施

説明会の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「3密」を避けるため、事前予約制で時間帯を区切って入場制限を行い、映像や資料配布、パネル展示物を閲覧するオープンハウス型の説明会を実施した。

また、説明会会場にて、各地域の意見をアンケートで回答いただき、具体的な意見要望等については、個別相談として対応した。

説明会開催日時及び各会場の場所や参加者数については、表 1.1 の通りである。

表 1.1 説明会開催日時と会場

対象地区	日時	会場	参加者数
北部地区	10月9日(金)14時~16時	北部地区サービス事務所 (第1・2会議室)	22
東部地区	10月14日(水)14時~16時	目黒区民センター社会教育館 (レクリエーションホール)	9
全地区	10月16日(金)18時~20時	目黒区総合庁舎(2F大会議室)	9
南部地区	10月20日(火)14時~16時	原町住区センター(第1・2会議室)	9
中央地区	10月23日(金)14時~16時	碑文谷体育館(3F会議室)	8
西部地区	10月27日(火)14時~16時	緑が丘文化会館本館(第3研修室)	6
		計	63

以下に説明会の様子を示す。

北部地区サービス事務所（第1・2会議室）



目黒区民センター社会教育館（レクリエーションホール）



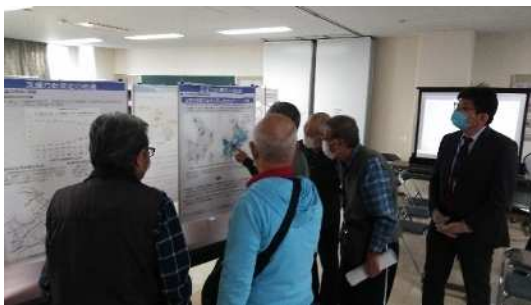
目黒区総合庁舎（2F 大会議室）

全地区



原町住区センター（第1・2会議室）

南部地区



碑文谷体育館（3F 会議室）

中央地区



緑が丘文化会館本館（第3研修室）

西部地区



## (2) アンケート調査項目

地域の皆さんが日頃感じている移動の課題や要望等の意見を聞き、モデルルート検討に向けた素材として取りまとめるため、アンケート票を作成して調査を行った。

アンケート調査にあたり、説明会会場での回答や、説明会へ参加できない方へ向け、区のホームページから回答できるようにした。

また、各地域から様々な意見を聞くため、町会・自治会・住区会長へ、資料配布を行い、アンケート回答に協力いただくよう依頼した。

アンケートの調査項目については、表 1.2 の通りである。

表 1.2 アンケート調査項目

No.	質問事項	選択肢・回答項目
1	日常生活を送る上で、新たな地域交通（ワゴン型バスなどの身近な地域の交通）を必要と感じますか。	必要と感じる 必要と感じない
2	あなたの年代をお答えください。 (1つ選択)	10代 20代 30代 ... 85歳以上など 60代まで10歳刻み、60代以上5歳刻み
3	あなたの現住所をお答えください。 (1つ選択)	駒場 青葉台 東山 ...など 28ゾーン区分 何丁目かを記入
4	新たな地域交通を導入するうえで、あなたが最も必要と感じる項目や頻度をお答えください。(各1つ選択)	項目： 通勤 通学 買い物 病院 レクリエーション(スポーツジム、図書館など) その他  頻度： 毎日 週5日程度 週3日程度 週1日以下
5	あなたが必要とする新たな地域交通の行き先の施設や地点を必要性の高い順にお答えください。	出発地点(施設名称： 、住所： ) (施設名称： 、住所： ) (施設名称： 、住所： ) (施設名称： 、住所： )
6	上記5でご回答いただいた施設を結ぶルートをお答えください。	ルート(出発地点 )
7	本アンケートの結果によるモデルルートの具体的な検討会への参加意向についてお答えください。(1つ選択)	参加したい 参加したくない その他
8	新たな地域交通に関するご意見や日常の移動に関する困りごとなどがありましたら、ご記入をお願いします。	自由回答

## 4 説明会の実施結果

### (1) アンケート結果

説明会の各会場及び町会・自治会、住区住民会議や区ホームページによる電子上にて、地域住民を対象としてアンケート調査を行い、地域の移動に関する課題や要望を取りまとめた。

回答数は説明会で44件、町会・自治会、住区住民会議で63件、電子上で4件の計111件となった。アンケート結果の取りまとめは、回答された住所を基に地区を分類した。

表 1.3 アンケート回答数

実施方法		回答数
説明会	北部地区	14
	東部地区	8
	全地区	7
	南部地区	8
	中央地区	4
	西部地区	3
町会・自治会、住区住民会議(郵送)		63
電子(区ホームページ)		4
計		111



### 1) 地域交通の必要性

日常生活を送る上での新たな地域交通の必要性については、全体の7割で『必要と感じる』と回答があった。地区別では、北部地区が81%で最も高く、次いで東部地区で75%となっており、中央地区では55%と最も低い。

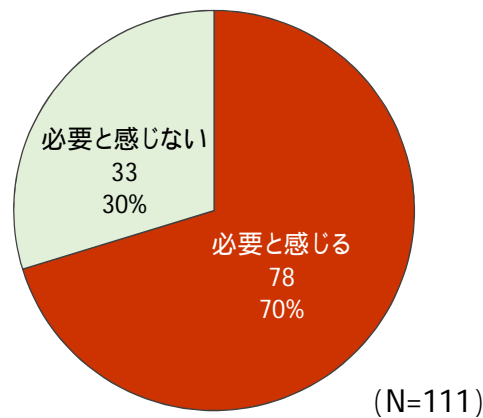


図 1.1 地域交通の必要性

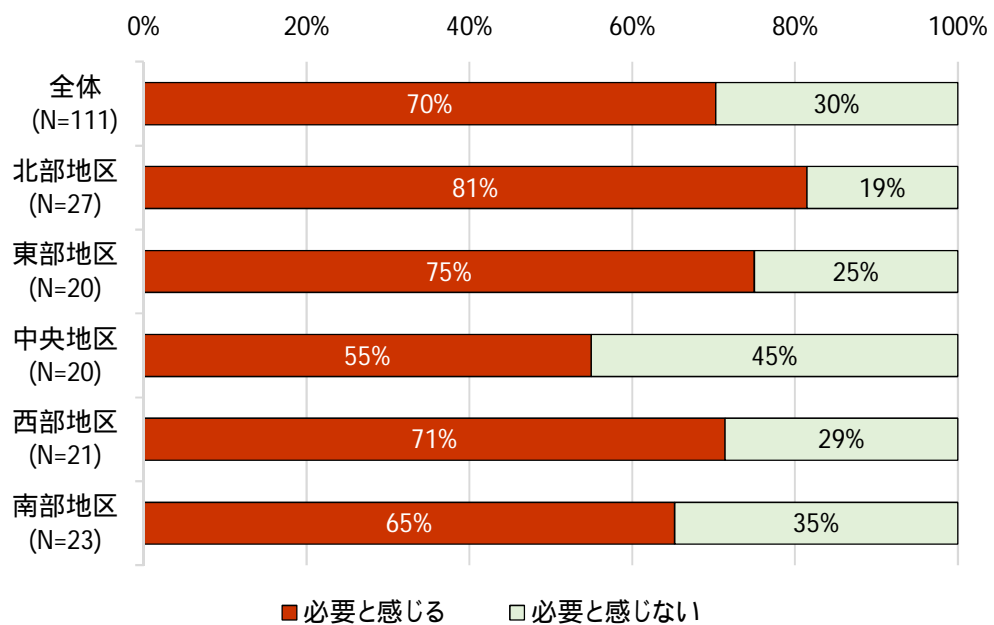


図 1.2 地域交通の必要性（居住地域別）

## 2) 回答者の年代

回答者の年代については、75歳以上が全体の約5割で、65歳以上では8割以上であった。地区別では、65歳以上の割合が最も高いのは中央地区の90%で、次いで北部地区の89%となっており、最も低い南部地区でも83%となっている。

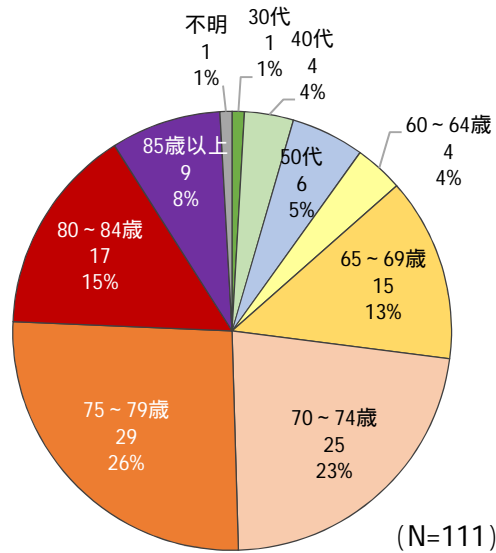


図 1.3 回答者の年代

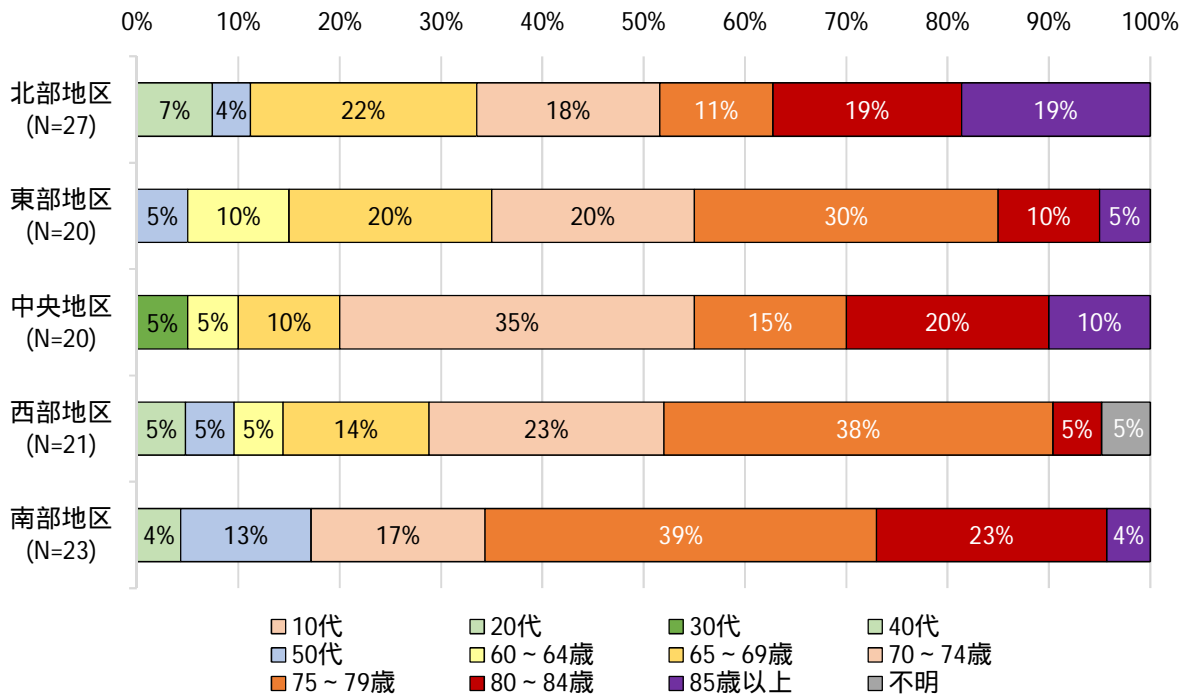


図 1.4 回答者の年代 (居住地地域別)

### 3) 回答者の住所

回答者の住所については、北部地区が最も多かったが、割合では各地区がそれぞれ約2割と大きな違いはない。地域別では、最も回答者数が多かったのは、南が10件で、次いで目黒本町の9件となっており、最も少なかったのは、自由が丘で0件となっている。

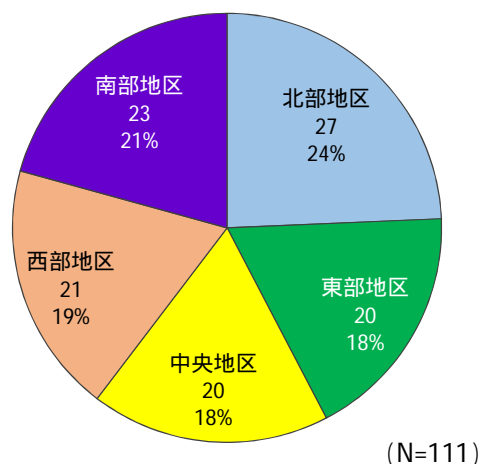


図 1.5 回答者の住所 (地区)

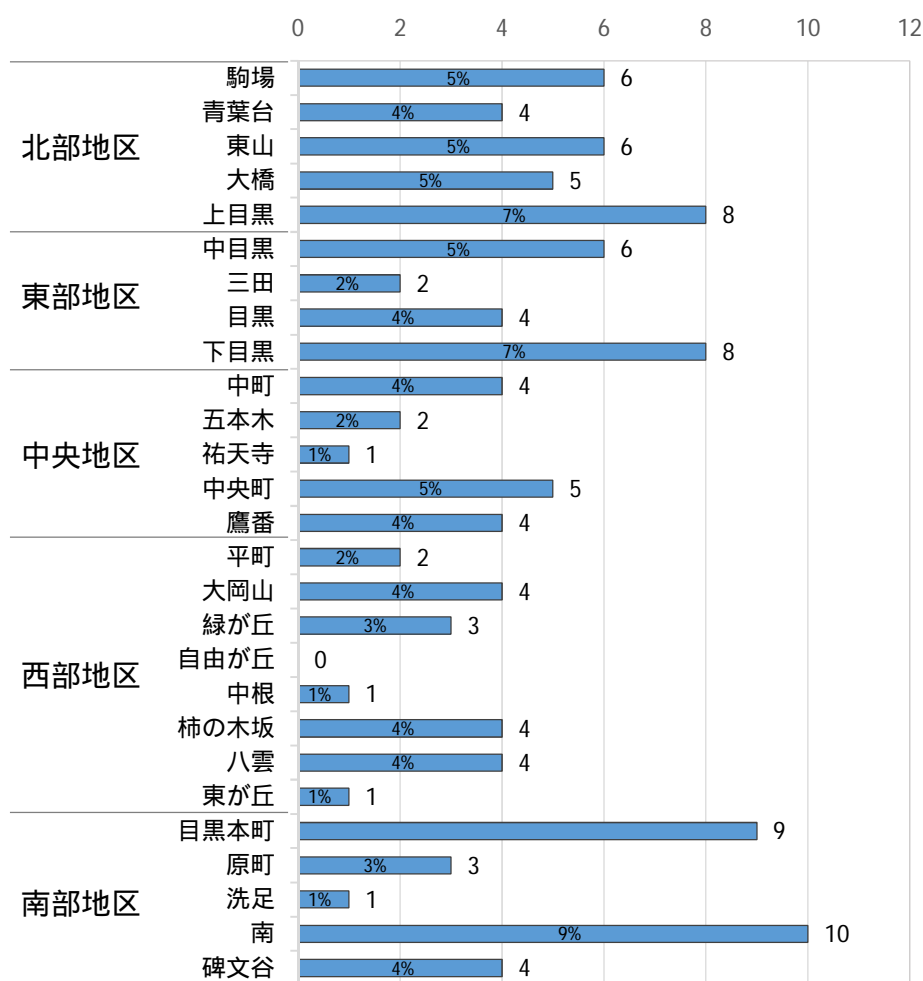


図 1.6 回答者の住所 (地域)

#### 4) 地域交通の導入を必要と感じる項目や頻度

地域交通を導入する上で最も必要と感じる項目や頻度については、病院が 52 件で最も多く、頻度は週 1 日以下が 4 割以上で、週 3 日程度を含めると 7 割以上であった。次いで買い物が 31 件で、頻度は週 3 日程度が 4 割以上で、週 1 日程度も含めると 7 割以上であった。

地区別では、東部や南部で病院という回答が多く、北部では買い物という回答が多かった。

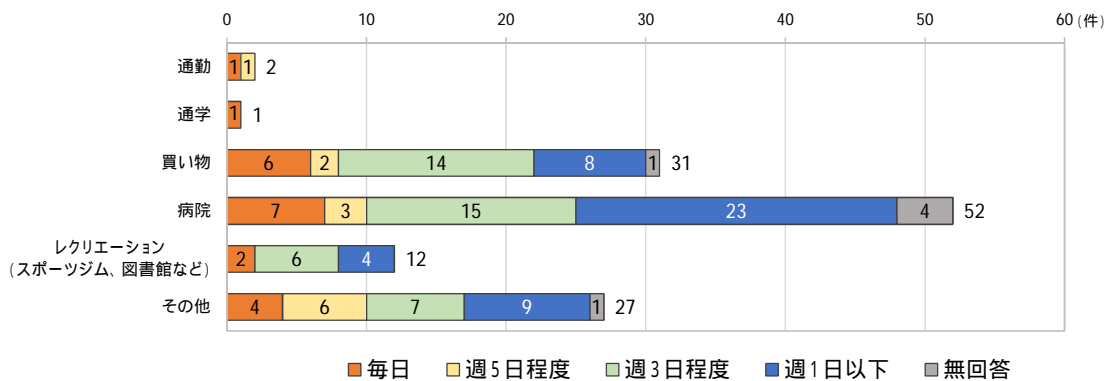


図 1.7 移動の必要性を感じる項目（全体）

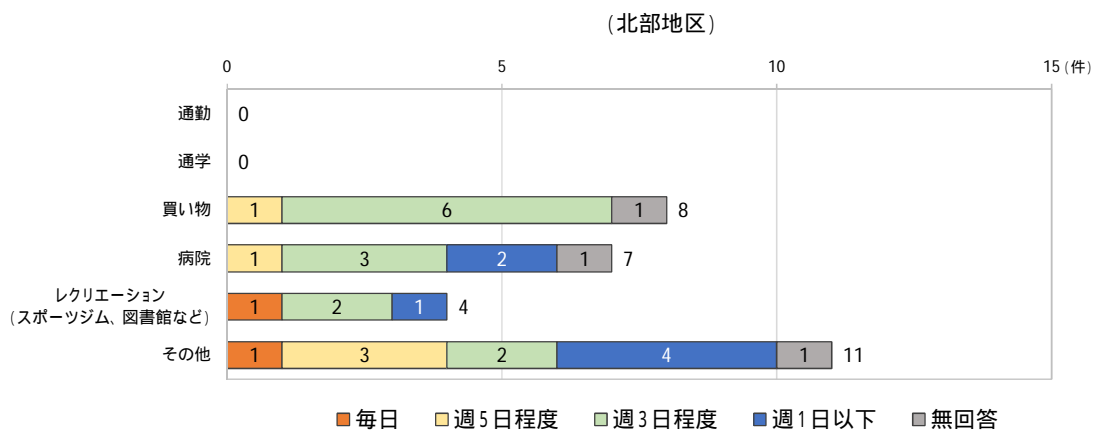


図 1.8 移動の必要性を感じる項目（北部地区）

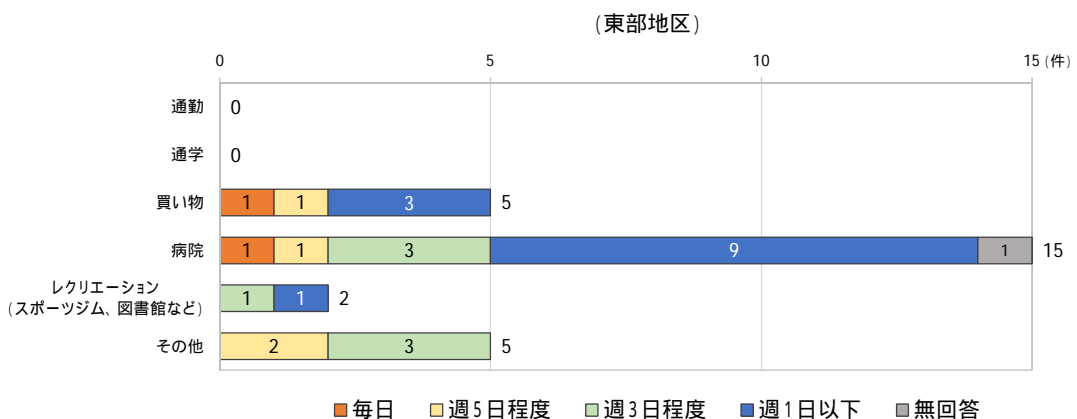


図 1.9 移動の必要性を感じる項目（東部地区）

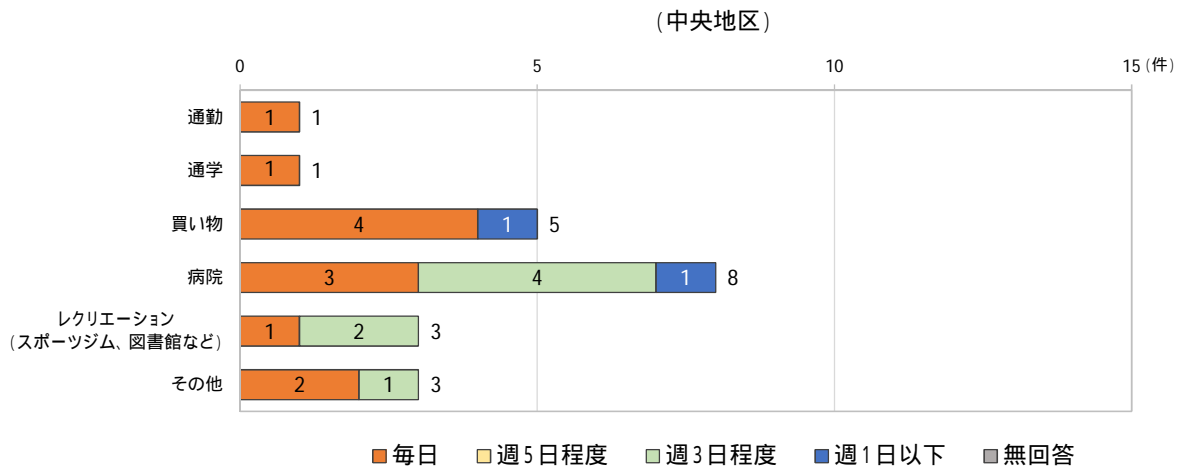


図 1.10 移動の必要性を感じる項目（中央地区）

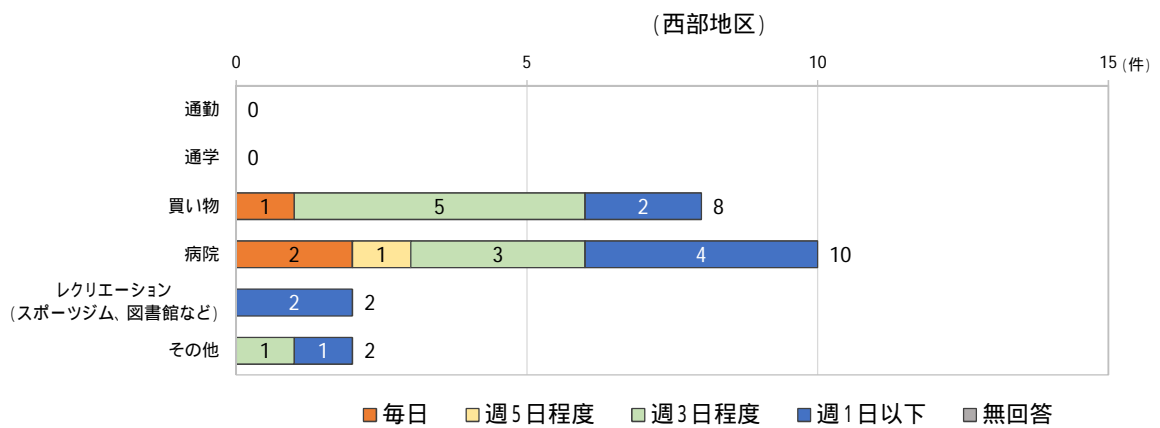


図 1.11 移動の必要性を感じる項目（西部地区）

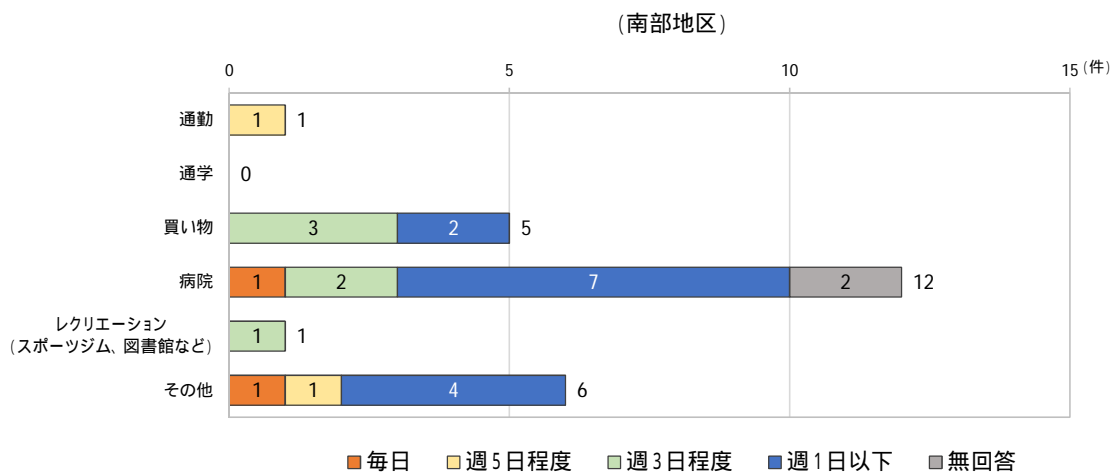


図 1.12 移動の必要性を感じる項目（南部地区）

5) 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点

行き先施設・地点

必要と感じる新たな地域交通の行き先施設や地点については表 1.4～表 1.13 の通りとなった。最も回答が多かったのは公共施設の目黒区役所(総合庁舎)で27件、次に、めぐろパーシモンホールとなった。住区センターでは田道ふれあい館の回答が多く、西部地区を除く4地区での回答があった。病院では東京共済病院が最も多く、全地区で回答があげられている。次に回答の多かった東京医療センターでは、中央・西部地区の回答が多く、厚生中央病院では東部地区の回答が多くなっている。

駅では西部地区で都立大学駅が多く回答された。北部では中目黒駅と駒場東大前駅、東部では目黒駅となっている。

表 1.4 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点(公共施設)

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
目黒区役所(総合庁舎)	28	8	4	7	3	6
めぐろ区民キャンパス(めぐろパーシモンホール)	16	7	0	0	3	6
田道ふれあい館(田道住区センター、高齢者センター)	8	4	0	1	0	3
目黒区民センター	6	3	1	1	0	1
目黒区立 中央体育館	5	2	0	0	0	3
北部地区サービス事務所	5	5	0	0	0	0
菅刈老人いこいの家(菅刈住区センター)	5	5	0	0	0	0
目黒区立 緑が丘文化会館・緑が丘図書館	3	0	0	0	3	0
中央町さくらプラザ(五本木住区センター)	3	2	0	0	0	1
目黒区立 駒場体育館	2	2	0	0	0	0
目黒税務署	2	1	0	0	0	1
東京高地裁 中目黒分室(仮称)	1	0	1	0	0	0
西部地区サービス事務所	1	0	0	0	1	0
平町老人いこいの家	1	0	0	0	1	0
防災センター	1	0	0	0	0	1
警視庁 目黒警察署	1	0	1	0	0	0
東京消防庁 目黒消防署	1	0	1	0	0	0
目黒区立 碑文谷体育館	1	0	0	0	0	1
イメージスタジオ 109 目黒スタジオ	1	0	1	0	0	0
中目黒スクエア	1	1	0	0	0	0
目黒郵便局	1	0	0	1	0	0

表 1.5 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点（住区センター）

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
田道住区センター(田道ふれあい館、高齢者センター)	8	4	0	1	0	3
菅刈住区センター(菅刈老人いこいの家)	5	5	0	0	0	0
五本木住区センター(中央町さくらプラザ)	3	2	0	0	0	1
駒場住区センター	2	2	0	0	0	0
中根住区センター	2	0	0	0	2	0
大岡山西住区センター	2	0	0	0	2	0
碑住区センター	2	0	0	0	0	2
下目黒住区センター	1	0	0	0	0	1
自由が丘住区センター	1	0	0	0	1	0
原町住区センター	1	0	0	0	0	1
烏森住区センター	1	1	0	0	0	0
東根住区センター	1	0	0	0	1	0
八雲住区センター	1	0	0	0	1	0

表 1.6 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点（病院）

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
東京共済病院	16	3	3	5	3	2
東京医療センター	14	0	1	3	5	5
厚生中央病院	12	2	6	1	1	2
三宿病院	7	3	1	1	2	0
東邦大学医療センター 大橋病院	7	4	1	0	2	0
昭和大学病院	2	0	0	0	0	2
中目黒整形外科クリニック	1	1	0	0	0	0
碑文谷病院	1	0	0	0	0	1
広尾病院	1	0	1	0	0	0
目黒病院	1	1	0	0	0	0
自衛隊中央病院	1	1	0	0	0	0

表 1.7 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点（駅）

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
中目黒駅	8	5	1	1	1	0
目黒駅	7	0	4	1	2	0
都立大学駅	6	0	0	0	6	0
駒場東大前駅	5	5	0	0	0	0
大岡山駅	3	0	0	0	3	0
学芸大学駅	2	0	0	1	1	0
自由が丘駅	2	0	0	0	2	0
洗足駅	2	0	0	0	1	1
祐天寺駅	2	1	0	1	0	0
池尻大橋駅	1	1	0	0	0	0
恵比寿駅	1	0	1	0	0	0
三軒茶屋駅	1	0	0	1	0	0
渋谷駅	1	0	0	0	1	0
西小山駅	1	0	0	0	0	1
緑が丘駅	1	0	0	0	1	0

表 1.8 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点（バス停）

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
宮が丘(バス停)	1	0	0	0	1	0
東山一丁目(バス停)	1	1	0	0	0	0
不動尊参道(バス停)	1	0	1	0	0	0
松見坂下(バス停)	1	1	0	0	0	0



表 1.9 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点（学校）

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
油面小学校	1	0	0	1	0	0
東京都立 駒場高等学校	1	1	0	0	0	0
第一中学校	1	1	0	0	0	0
八雲小学校	1	0	0	0	1	0
第十中学校	1	0	0	0	1	0
大鳥中学校	1	1	0	0	0	0

表 1.10 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点（買物）

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
ライフ 目黒大橋店	1	1	0	0	0	0
都立大学 東急ストア	1	0	0	0	1	0
学芸大学商店街	1	0	0	1	0	0
東急ストア 中目黒本店	1	1	0	0	0	0
ライフ 中目黒店	1	1	0	0	0	0
ブレッセ 中目黒店	1	1	0	0	0	0
業務スーパー 目黒大橋店	1	1	0	0	0	0
マルエツ 目黒店	1	0	1	0	0	0

表 1.11 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点（公園）

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
碑文谷公園	3	0	0	0	0	3
東京都立 林試の森公園	2	0	1	0	0	1
駒場公園	2	1	0	0	1	0
駒場野公園	1	1	0	0	0	0
西郷山公園	1	0	1	0	0	0
中町せせらぎ緑地公園	1	0	1	0	0	0
世田谷区立 世田谷公園	1	0	0	1	0	0
東京都立 駒沢オリンピック公園	1	0	0	0	1	0

表 1.12 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点（神社・寺）

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
大鳥神社	2	0	2	0	0	0
上目黒氷川神社	1	1	0	0	0	0
目黒不動尊瀧泉寺	1	0	1	0	0	0

表 1.13 必要とする新たな地域交通の行き先施設や地点（住所）

施設名	全体	北部	東部	中央	西部	南部
目黒本町3	3	0	0	0	0	3
青葉台1	1	1	0	0	0	0
青葉台4丁目	1	1	0	0	0	0
鷹番1丁目	1	0	0	1	0	0
柿の木坂	1	0	0	0	1	0
五本木交差点	1	0	0	1	0	0
駒場3	1	1	0	0	0	0
自宅(東山1)	1	1	0	0	0	0
自宅(東山2)	1	1	0	0	0	0
自宅(南1-21-13)	1	0	0	0	0	1
松見坂交差点	1	1	0	0	0	0
三宿	1	0	0	0	1	0
駒場	1	1	0	0	0	0
鷹番2	1	0	0	1	0	0
緑が丘六差路	1	0	0	0	1	0

地域交通の行先について、回答数の多かった施設を地区別でみると、北部や東部、西部に集まっていることがわかる。

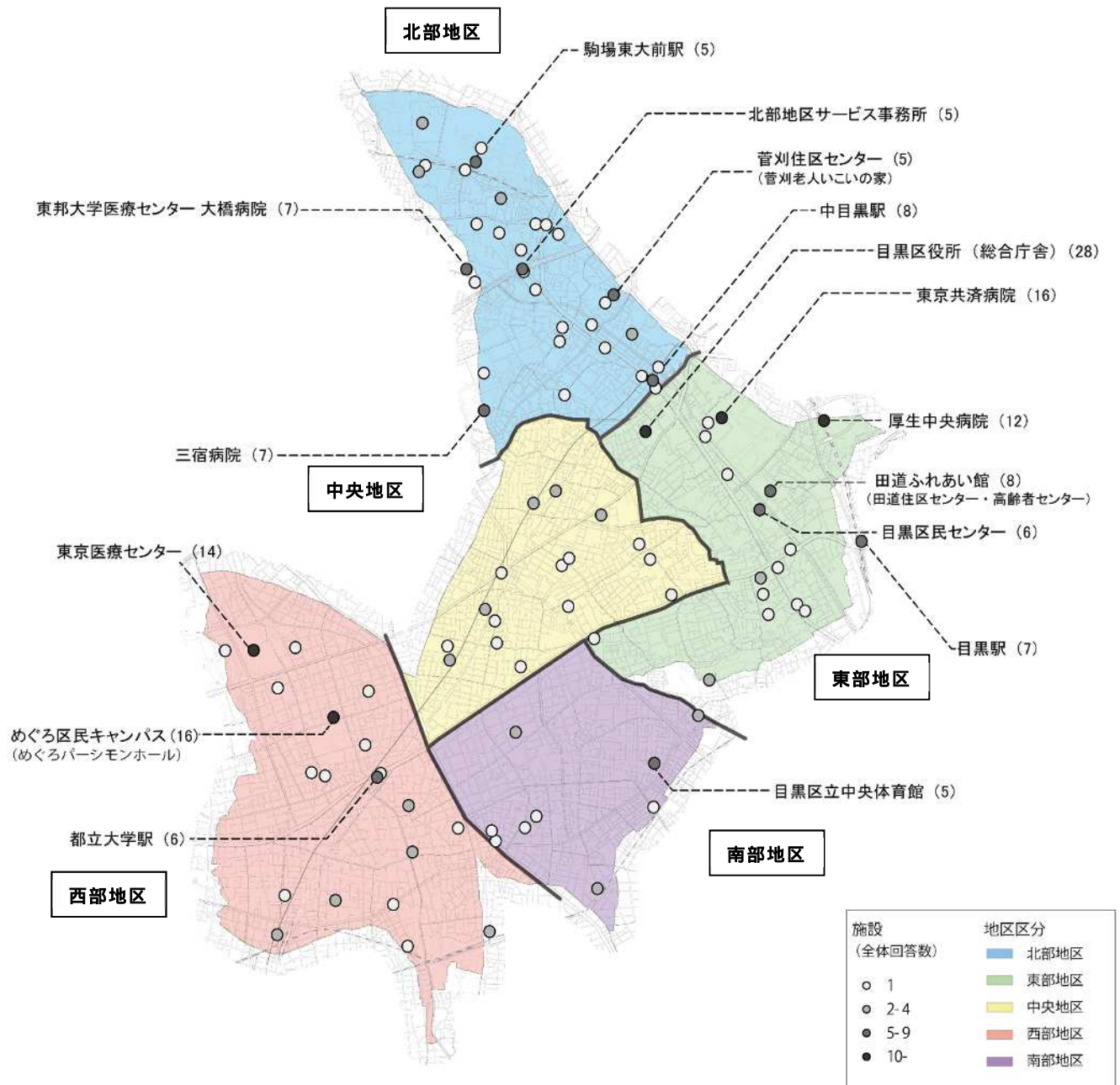


図 1.13 必要とする新しい公共交通の行き先や施設（全体）

行き先施設や地点を結ぶルート

必要と感じる新たな地域交通の行き先施設や地点を結ぶルートについて回答いただき、ルートを居住地域別で色分けし位置図を作成した。

施設が集まっている北部から東部にかけて、縦軸ルートの回答が多く、西部でも地区内の縦軸ルートの回答が見られた。また、東部と西部の施設をつなぐ横軸ルートは、「目黒区役所（総合庁舎）」と病院等を結ぶルートとして回答が多かった。

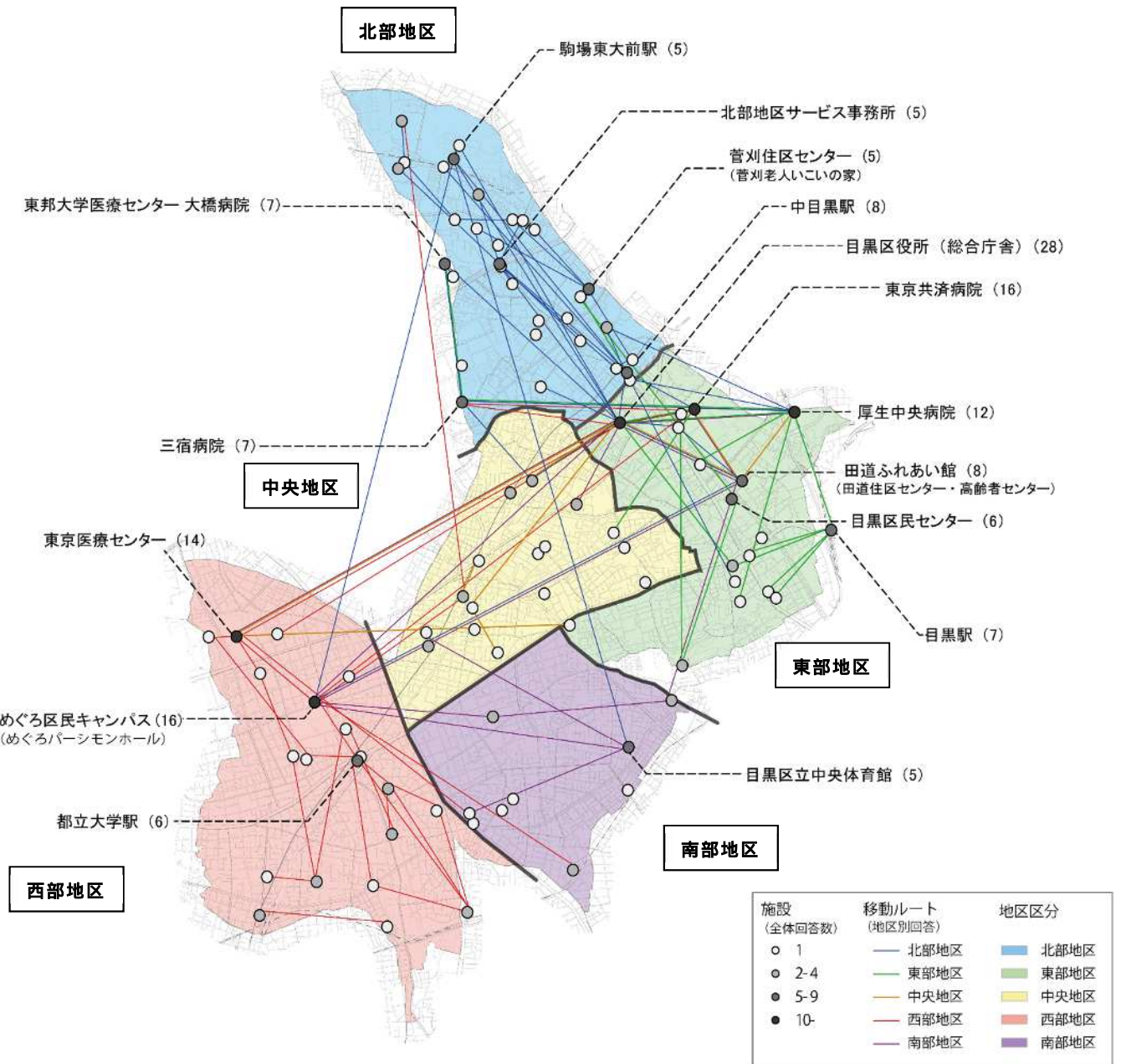


図 1.14 必要とする新しい公共交通の行き先や施設と移動ルート（全体）

【北部地区】

北部地区では、駒場から大橋、上目黒への縦軸ルートの回答が多く、東部地区の「田道ふれあい館」や、西部地区の「めぐろ区民キャンパス」等の距離の遠い施設への意見も見られた。

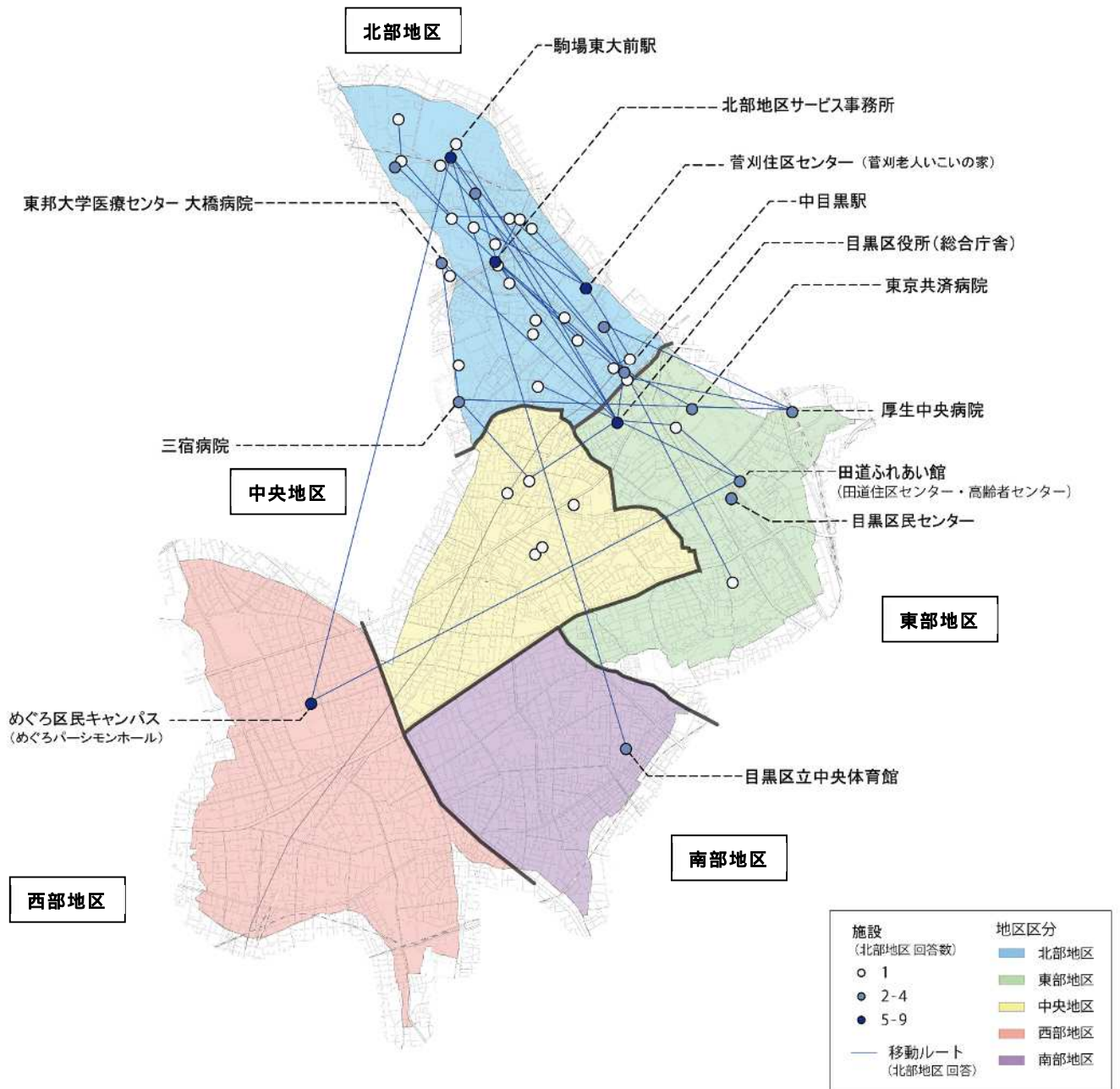


図 1.15 必要とする新しい公共交通の行き先や施設と移動ルート（北部地区）

【東部地区】

東部地区は、地区内の施設への移動ルートの回答が多く、他地区への移動要望では、北部や西部の病院施設の回答が見られた。

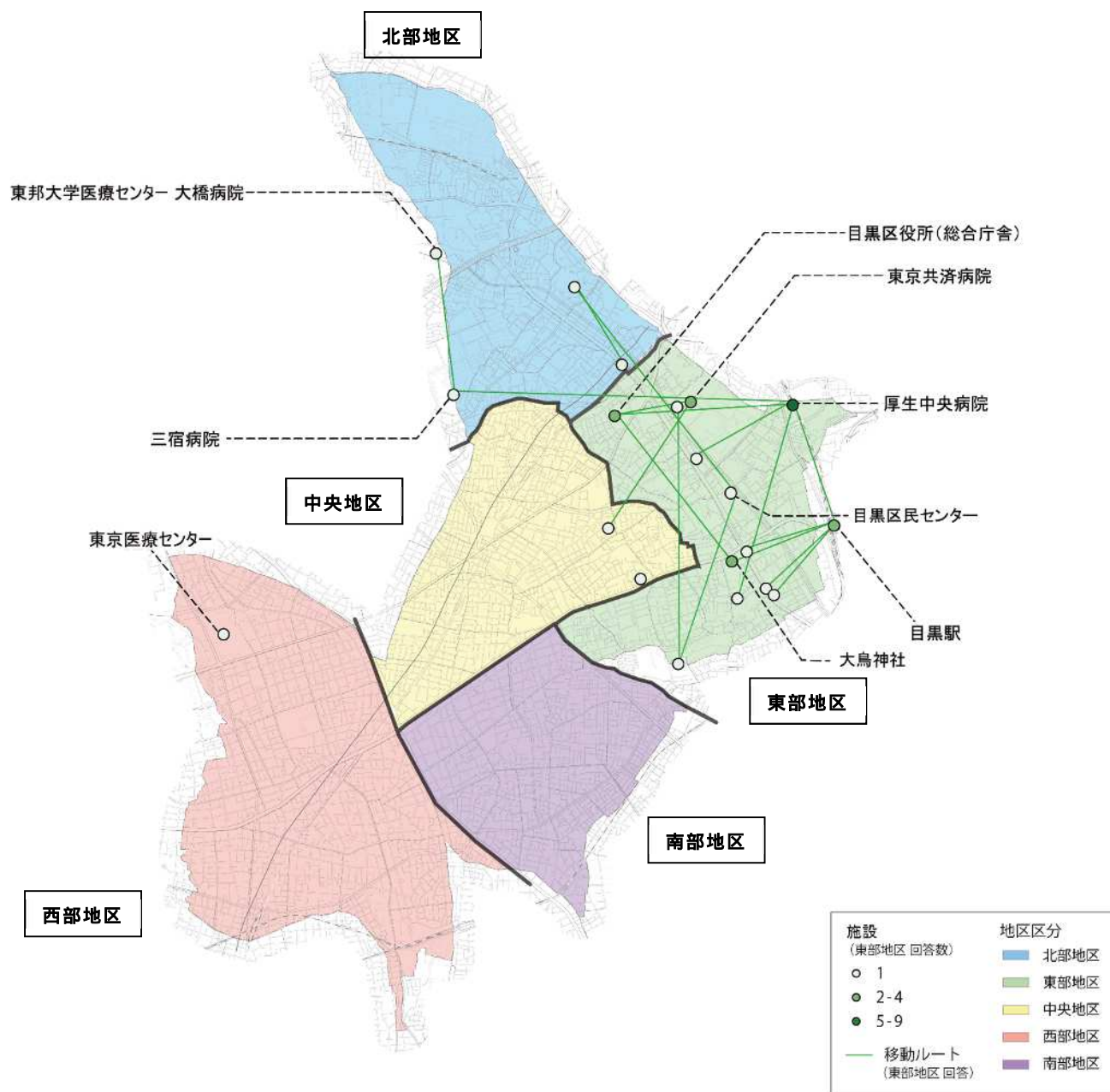


図 1.16 必要とする新しい公共交通の行き先や施設と移動ルート (東部地区)

【中央地区】

中央地区では、地区内の施設や、東部の「目黒区役所（総合庁舎）」や「東京共済病院」等の施設への移動ルートの回答が多く、他地区への移動要望では、北部や西部の病院施設の回答が見られた。

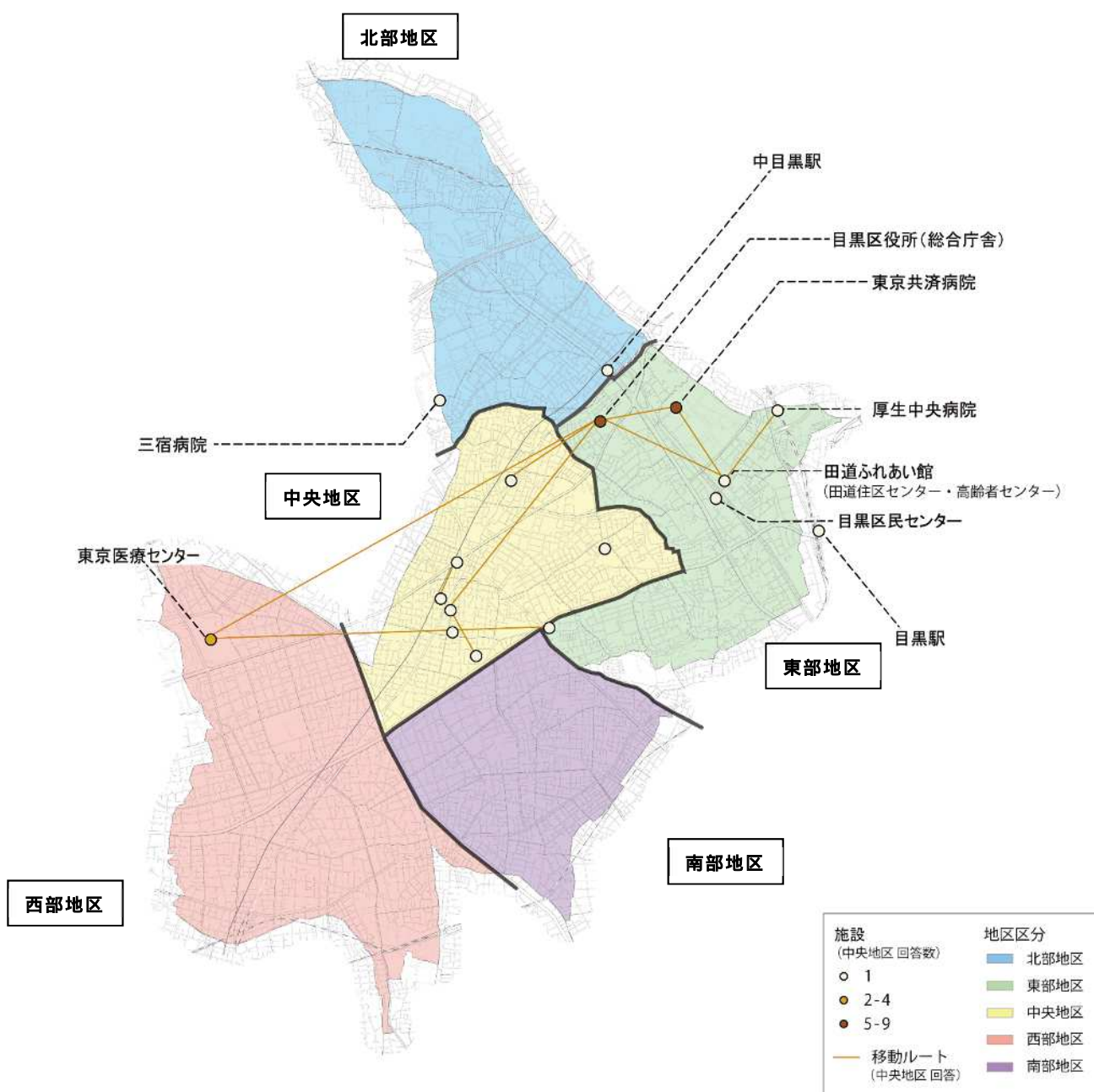


図 1.17 必要とする新しい公共交通の行き先や施設と移動ルート（中央地区）

【西部地区】

西部地区では、東が丘から中根、大岡山、南等への縦軸ルートの回答が多く、他地区への移動要望では、北部や東部の病院や「目黒区役所（総合庁舎）」の回答が見られた。

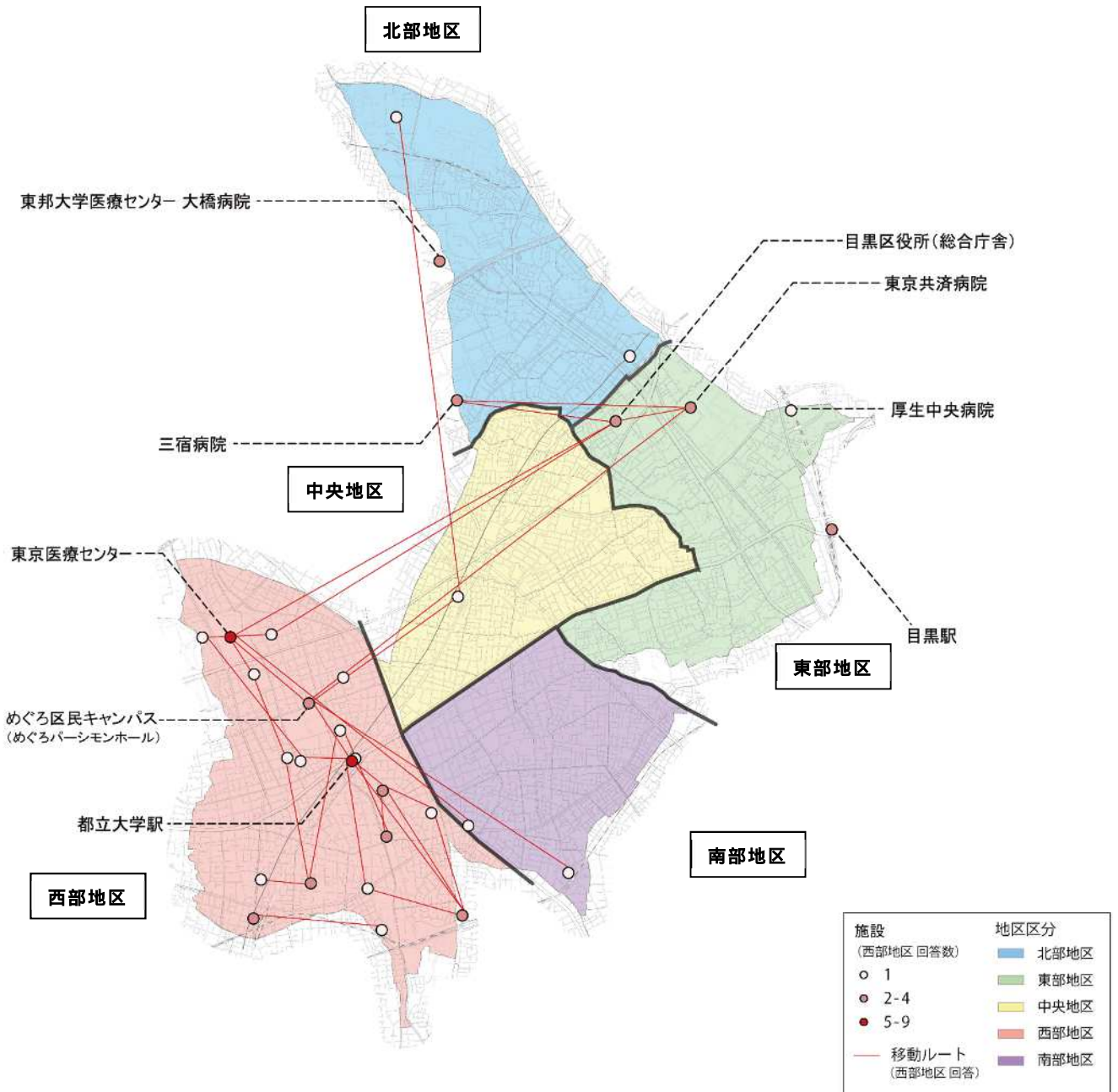


図 1.18 必要とする新しい公共交通の行き先や施設と移動ルート（西部地区）



【南部地区】

南部地区では、地区内の移動よりも、他地区の施設となる病院や、「目黒区役所（総合庁舎）」、「めぐろ区民キャンパス」等を巡回する回答が見られた。

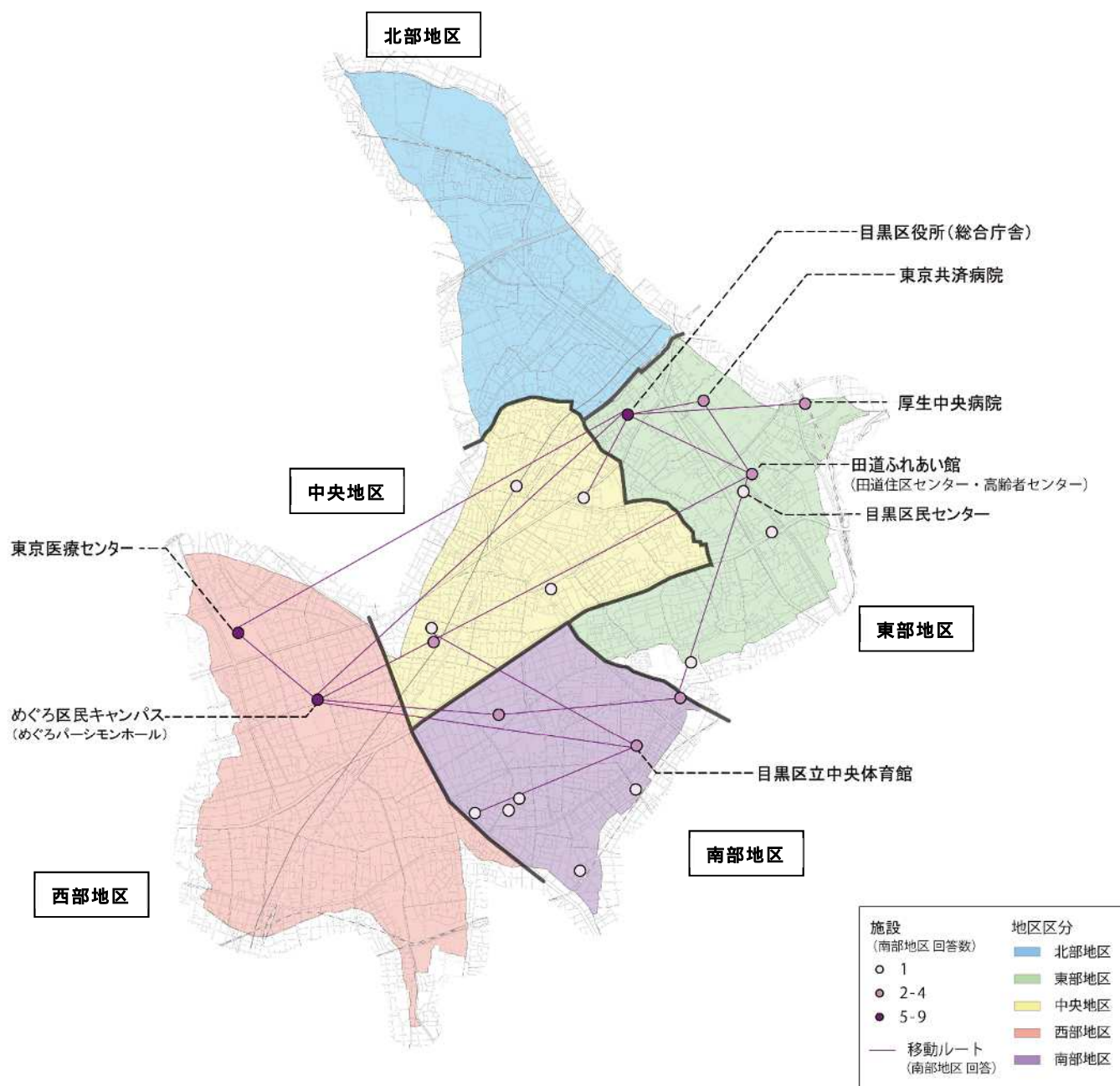


図 1.19 必要とする新しい公共交通の行き先や施設と移動ルート（南部地区）

## 6) 検討会への参加意向

今後開催予定となるモデルルート具体的な検討会への参加意向については、『参加したい』と回答があったのは約5割となった。居住地域別では北部が最も多く約7割が『参加したい』と回答した。一方、南部では最も低く約2割となった。

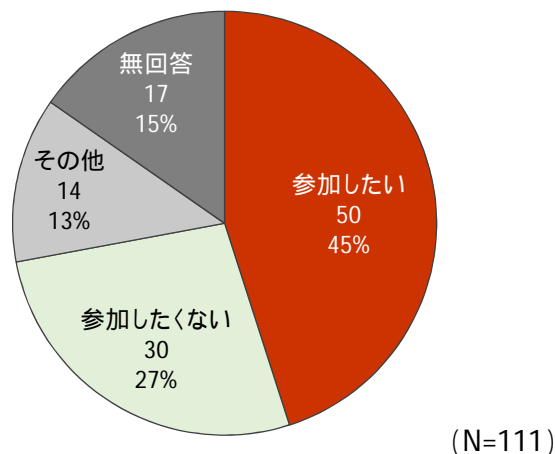


図 1.20 検討会への参加意向

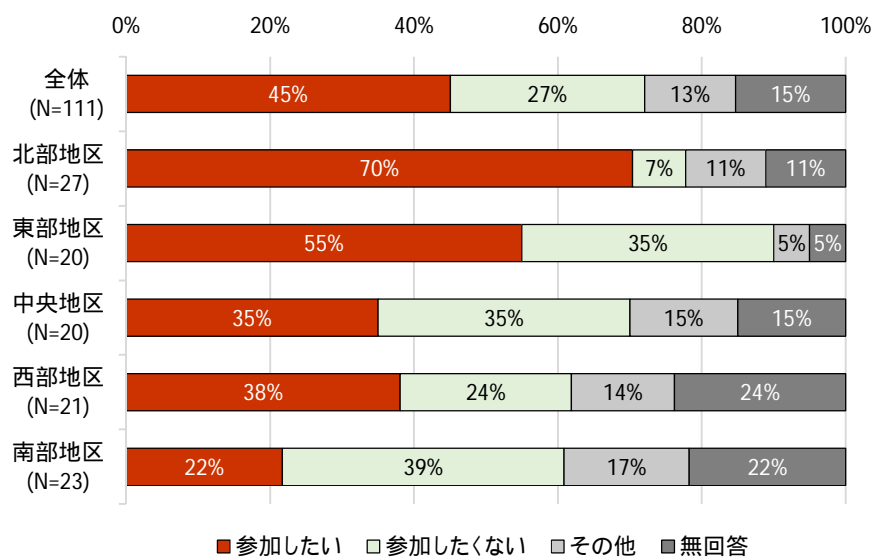


図 1.21 検討会への参加意向 (地域別)

表 1.14 検討会への参加意向のその他理由 (一部抜粋)

居住地域	意見
北部地区	オブザーバとして参加したい。
西部地区	特に参加希望強くないが意見・情報収集で参加希望。
南部地区	専門チームに任せる。あまり必要を感じない。
中央地区	状況や開催時間による。

7) 新たな地域交通に関する意見

新たな地域交通に関するご意見や日常の移動に関する困りごと等について記載していただいた。居住地域別の意見を次頁以降に示す。

表 1.15 新たな地域交通に関する意見（北部）

意見	
北部地区	バスを乗換で区役所へ行くなど年配の方は不便を感じている
	現時点ではバス他シルバーバスをフル活用できる為あまり必要を感じません。先になってからは疑問がありますが。
	今は自力で近所の病院へ何とか通院できますが先の事が心配です。自宅そば迄の交通機関があればと願っております。
	雨天の場合、自転車での移動ができない。
	設問5にかかわらずスーパー病院、区の施設は細かく回ってほしい。乗り降りはあるべくこまめに行う事で利用も増えると思う。横浜市川崎市を参考とのことですが渋谷など隣接区は参考にしないのですか。利用料は100円が希望。
	運賃が気になります。現行ルート縦に結ぶラインが必要と思います。道幅の狭い所を何らかの方法で運行して欲しいです。
	公衆浴場や高齢者ふれあい館への送迎など高齢者の声をよく聞き福祉的視点を大切にして単純な採算オンリーでないバランス感覚で進めてください。
	北部、特に駒場地域は高低差あり国道246号線を渡って来るような交通がない(縦の移動)。細い道でルートを考えるのは難しいと思うが、検討願いたい。又、上目4丁目の奥の方(高低差ある所)も野沢通りから遠い所は不便かと思うので、その地域もバス運行ルート(駐車場)検討していただけると良い。
	各地域から住区へ送り迎えがあると良いと思います。
	停留所名がわかりやすい名称にしてほしい。例えば 住区センター前とか 公園前のように地域に根付いた誰でもわかる名称にしてほしい。
	住んでいる所によって希望はあると思います。
	東山から厚生中央病院への足がなく行きはタクシー、帰りは恵比寿まで歩き(足が悪いので辛い)。地下鉄で中目黒で降りプレッセへ買い物、帰りはバスで東山で降りる。バス停から自宅まで歩きです。かつ中目黒から東山バス停までの距離が長すぎる。野沢通の手前にバス停があれば良いのと思う。中目黒駅から旧山手通りを通り新宿西口まで行くバスがあれば駒場方面にも行けるのではと思っています。
	地域公共交通は地域の足として持続性が大事と考える。持続性を考慮すると採算が取れないとダメ。民間企業などに運営委託した場合は採算が取れない。地域課題は地域の方々に検討し主体的に運営していく方向で良いと考える。
	高齢者として出掛ける所は病院が一番多いと思います。病院循環バスが出来ると良いかと思えます。その他、区の施設を回るクルマ、例えば区役所、住区センター区民センター、体育館、パーシモンホール等です。
駒場はとにかく中目黒方向への交通が不便です。区役所や区の公共施設である区民センター、民キャンパス、パーシモンホールなど、とても行きづらく、駒場住民は区民でありながら、それらの施設の恩恵を十分に受けられてないのではないのでしょうか。以上のことから、中目黒方向への交通の充実をぜひお願いしたいです。	
(今後更に増える)高齢者の中によくあるのが、選挙の時に「急な坂を登っていかなくてはいけないので天気が悪いと行けないという意見が多い。」「また病院へ行く時、大通りにしかバス停はなく病院の玄関まで遠くて困る。」「駒場から南へ行く直通のバスがないのでなんとかルートを作ってほしい。」障がいのある方など福祉をどのように取り入れていくのか知りたい。(どのような方針)	

表 1.16 新たな地域交通に関する意見（東部）

意見	
東 部 地 区	毎日外出する必要があり健康のためにも足を強くするためにもバスに乗って出かけてます。今まであまり不自由を感じません。
	バス停が遠い所があります。
	急な柿の木坂を上るのが苦しい。
	三田地区は高台の為どこへ行くにも坂を下り帰りは上がる。三田通りは昔渋谷から桜新町または砧緑地公園方面に路線バスが走っていました。その関係で大鳥神社方面より三田にある厚生中央病院までバスで来られた患者さんがたくさんいました。今でも不便を感じる人が多くいます。
	目黒本町1丁目は比較的便利な地域でバスで最寄りの駅に行かれます。ただ老人会の集い・会合に行く住区センターは坂があり行き帰りが大変です。
	近所で用が足ります。
	高齢者の病院や買い物の不自由と思います。巡回ルートを細かくしてサポートしてもらえると良いと思います。
	現在ある事業者(バス・タクシー)は地域に詳しいと思います。アンケートの結果をもとに連携をとり実験をすることが良いと思います。
	行人坂が勾配が急なため目黒駅へのアクセスが辛いです。また行人坂が道が狭く交通量も多いため、年寄りの方はより辛いと思います。 5~6年前からいろいろ話をしているのですが一向に現実化になっていない。ほかの区ではコミュニティバスが利用されている。遅すぎる。

表 1.17 新たな地域交通に関する意見（中央）

意見	
中央地区	<p>公営と経費負担のバランスは常に検討すべきである。利便性の高い土地（場所）は高額、そうでない所は安いことが多い。この差を公が平均化する必要があるのだろうか。小型の区営バスを設置することは問題あり。目黒の一部で小バス運転があり、その路線が「街コン」で話されたが、エゴを感じた。公助自助とは何だろうか。</p>
	<p>現在は必要を感じていないが2～3年先には必要になるかも。</p>
	<p>補助26号線の工事が長引き過ぎて大変迷惑です。一日も早く開通させるよう努力してください。</p>
	<p>目黒駅から大岡山方面に行くバスの回数は多いが等々力方面や弦巻営業所（パーシモンキャンパス）に行く本数が少ない。</p> <p>五反田駅から世田谷区民会館に行く路線も本数が少ないためタクシーを利用しているので増やしてほしい（中央体育館に行きにくい。）</p> <p>超高齢化社会には病院に通うためには安価で自宅からいける介護タクシーを増やしてほしい。</p>
	<p>日常の買い物や公共手続きに対する交通手段がより必要となると思われます。少しずつでも良いので成果を出していけると良いのですが。</p>
	<p>あれば便利だと思う。</p>
	<p>目黒通り及び山手通りに抜ける裏道の交通量が増えており(通行する車の)スピードも速い。毎日状況を観察している。</p> <p>住宅街からの裏道通勤が増えている。建築基準で1階に駐車場を設ける3階建てはやめてもらいたい。</p>
	<p>現在は自分で運転・路線バスの利用で済みますが将来の事を考えると通院等に不安を感じる。様々な要望に応える事は出来ませんが最終的にはドアtoドアが実現できれば最高かな、難しいことだと思います。</p>
	<p>個人的には交通手段としてはバイク、車等を利用しているのであまり地域交通は年間数回しか利用していません。当家の前にバス停があり私も老人ですが多くの高齢者がバスを利用しています。バスカードを有効に利用しているからでしょう。個人的にバスカードは持っていません。今も現役で活動(仕事)しています。体の不自由な方に温かな手助けをしてください。民として幸せです。</p>
	<p>各病院へバス停から距離があるためバスの乗り入れをして頂きたい。</p>
	<p>目黒通りと駒沢通を抜けるバスがあると便利。鷹番通り。</p> <p>具体化への問題。特に経済的な支援民間活力の利用などが全く示されていない。また地域の交通の現状の把握ができていないのか東急グループ中心な政策への反省がない。車いすなど交通弱者に対する政策の視点が見えない。</p>

表 1.18 新たな地域交通に関する意見（西部）

意見	
西部 地区	高齢者が急増するなかで、病院への通院、買物、区施設へのアクセスなど、日常生活を営む上で外出することが重要となっていると思う。ただ財政的な裏付けや、利用者確保などの課題があり、便利でしかも効果的な運用ができるような運営体制づくりが求められているのではないか。
	目黒通りの歩行者用信号を少し長くしてほしい。
	現在 77 歳。今は健康であるが先行、八雲 3 丁目から目黒通りを超え自由ヶ丘方面の坂を登る筈に 80 歳を超えると大変になるかなと思われる。
	八雲 1 丁目、2 丁目周りはバス・電車の便が良いので特に必要としません。他はあまりよく分かりません。
	当方の様な区境の町から区役所等また西部事務所に行くのも不便であるが、そのための地域交通は不要と考えております。まして中心部におられる方にはまったく無駄です。自身の交通手段(自転車・車)もしくは公共交通の利用で。
	坂道が多いので外出が気安くできない。
	渋谷駅周辺の文化施設にいく時東横線だと地下道をすごく歩くし道がわからない。バスがはるかに便利だが今ある便が採算が取れないと減便されている(1時間に2便)。バスの便(柿の木坂地区)を増やしてほしい。駅から遠い地区野沢・上馬便は便数が多い。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南三丁目は大岡山駅、洗足駅から離れているので高齢者が自分の足で区役所・大きな病院に行くのが大変です。</li> <li>・東京医療センターに行きたくても森 91 と黒 07 等 2 本のバスを乗り継がないと行けない。</li> <li>・近くにある目黒パーシモンホールにも駅が遠かったり 2 本のバスを乗り継がないと行けないし気軽というか手軽に行けない。</li> <li>・三宿病院から共済病院に目黒パーシモンホールを加えたルートのご検討をよろしく願いいたします。</li> </ul>
	以前は都立大学駅から医療センターへはもっと便利に行けていたのですがバスの本数が減り不便になりました。パーシモンホールのジムや図書館のホールへ行く方も多いので、そこを經由したシャトルバスを希望します。
	各種相談・申請等、高齢になれば出向くことが多くなりますが電車等では徒歩の時間を多く要します。是非各施設の近くまでのバスの運行をお願いします。
	坂があるので大岡山駅から都立大学駅にバスがあれば良い。また、そこにバスがあれば様々な所に行けるので便利。
	緑が丘 3 - 11 番地は内でも大田区世田谷区に隣接しておりバスや電車の駅にも徒歩で 15 分程を要し高齢の方や身体の不自由な方には厳しい状況です。タクシーもあまり通らずひたすら待っている方を見かけることも度々です。特に高齢の方が通院や買い物等で不便を感じていることを思うと週 3 回程度のマイクロバス等の運行を希望いたします。
	都立大学駅から三宿病院。
	実際に交通拠点から遠いエリアと要望の出るエリアの誤差にまどわされず、ご検討下さい。高齢者は坂の昇り下りがあるだけで、外出しづらいです。坂の Up、Down のあるエリアでは、地域交通の需要は必ずあります。5 人に 1 人が高齢者の時代です。電動車いすを購入できる人はごくわずかです。
	親が車イス利用者で、送迎の車の待つスペース(駐車スペース)がないこと。結局タクシーだよりで、交通費が多く必要。
現住所は駅に近く不便を感じないが、同じ柿の木坂でも 2・3 丁目に居住される人達の移動手段を考えていく必要があると思います。	

表 1.19 新たな地域交通に関する意見（南部）

意見	
南部地区	都または区の公共施設は基本的に移動運行の拠点に入れてほしい。学校、公園、いこいの家(住区センター)など。
	コロナの中、タクシー利用をためらっており不便を感じている。
	駅前にタクシー乗り場がないのでタクシーが拾いにくい。午前中に交通規制があるがわかりにくい。一方通行が多くわかりにくい。
	東急バス、渋谷駅東口 洗足駅を大岡山駅まで伸ばしてほしい。
	区の介護タクシーは急ぐ時には利用しにくい(申し込みが2週間前)。早急なコミュニティバスの導入。同バスの優先ライン設定。優先駐車場の設置。狭隘な道路への一般車両の交通制限。
	区内見回り用小型自動車活用。必要に応じ区内の送迎を考へては？
	5人以内が乗車出来る小型のデマンドバスで多少細い道でも通れる車が良い。
	路線バスのない場所にコミュニティバスを走らせてくれると良い。
	高齢者の足を確保してください。
	区役所方面、碑文谷住区、パーシモン方面への交通手段が武蔵小山はなく、以前より不便でした。昔は月光原住区・向原住区でいろいろ手続きできた気がします。碑文谷住区では遠すぎる。できれば、この住区でのサービス充実を向上させてほしい。でないのならバスを通してほしい。東横沿線ばかりは充実させている気がする。武蔵小山の品川区は駅の近くに出張所もあり色々申請手続きできる窓口があるのに側は武蔵小山駅近く、西小山駅近くに出張所を作ってくれない。不便すぎる。だから今回のアンケートはとてもうれしかった。コミュニティバスができたり出張所ができたらとてうれしい。
電車では徒歩を含むと区役所まで1時間はかかる。老人の足では大変。碑文谷住区もタクシーでないと無理。帰りがタクシーは拾えない。パーシモンに行くのもタクシーしかない。近隣の御老人と乗り合いタクシーにして行く。帰るのも大変。区役所、田道ふれあい館、共済病院、税務署、パーシモン、碑文谷住区、東京医療センターなど1つのラインでは難しいです。遠回りすぎると使う人が少なくなる気がします。	



## (2) 個別相談

各地区の説明会において個別相談の席を設け、以下の地区から具体的な要望があった。

表 1.20 各地区の具体的な要望内容

地区	要望内容
北部地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを走らせる会の地域検討組織がある。</li> <li>・駒場エリアは、目黒区内の施設に行くには、一度渋谷に行かなくてはならず、南北の縦方向の移動ルートが必要である。</li> <li>・駒場東大駅周辺、池尻大橋駅、中目黒駅、区役所等の公共施設、高齢者センターなどを回るルートがあるといい。</li> <li>・高齢者の声を聞いて、福祉の視点も考慮し、単純な採算オンリーではないバランス感覚で進めてほしい。</li> <li>・北部の駒場地域は、特に高低差があり、国道 246 を渡ってくるような交通（縦の移動）がない。</li> <li>・スーパー、病院、区の施設など、なるべく細かく回り、乗り降りをこまめに行うことで利用者も増えると思う。</li> </ul>
東部地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目黒三田通りのバス運行の要望があり、過去にバスが運行していたが、現在は無い。</li> <li>・目黒駅、厚生中央病院、茶屋坂、大鳥神社を回るルートや中目黒駅、区役所、恵比寿駅、厚生中央病院、目黒駅などのルートがあるといい。</li> <li>・最低でも、厚生中央病院から目黒駅までのルートは欲しい。 (渋谷区のハチ公バスが目黒区内も運行してくれるといい)</li> <li>・運行しても 30 分以上待つのでは利用者は少ないと思う。(せいぜい 15 分間隔まで)</li> </ul>
西部地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会内の高齢者の意見は、南から病院(東京医療センター)やパーシモンへの移動が不便との声があった。</li> <li>・区内の病院(東京医療センター、三宿病院、共済病院等)や公共施設(区役所、住区センター、パーシモンホール等)を巡回するバスがあるとよい。</li> <li>・希望するルートは、南 都立大学駅 パーシモン(区民キャンパス) 東京医療センター 駒沢公園</li> </ul>
南部地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に聞き取りをしたところ、坂道(上り坂)がづらいという意見があった。</li> <li>・シルバーパスを利用している高齢者が多く、利用料金が高いと利用しないと思う。</li> <li>・タクシーを利用する高齢者が多く、タクシーを確保できると利便性が高まるのではないかと。</li> <li>・病院(東京医療センター)やパーシモン(区民キャンパス)に行く人が利用しやすくなるといい。</li> </ul>